

# 第5回 親子孫子で楽しむアート ～和紙や布を染めてみよう～

2017年3月12日（日）

10:00～12:30（30分前より受付開始）

場所 甲南大学18号館3階講演室

10:00～10:10 イントロダクション

10:10～12:00 制作

12:00～12:30 シェアリング

講師 椋田三佳（美術家）

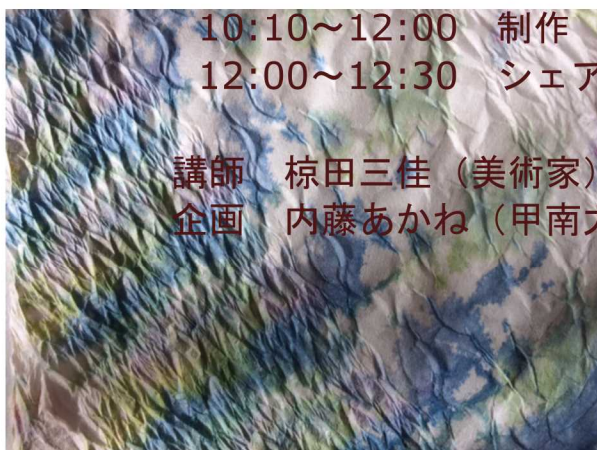
企画 内藤あかね（甲南大学心理臨床カウンセリンググループ相談員）

☆参加無料&材料不要☆  
定員18名（先着順）

親子孫子でお誘い合わせの上、  
お気軽にご参加ください。  
特別な配慮が必要な場合は  
事前にご相談ください。  
個人でのご参加も歓迎いたします。

お申し込み・お問い合わせ

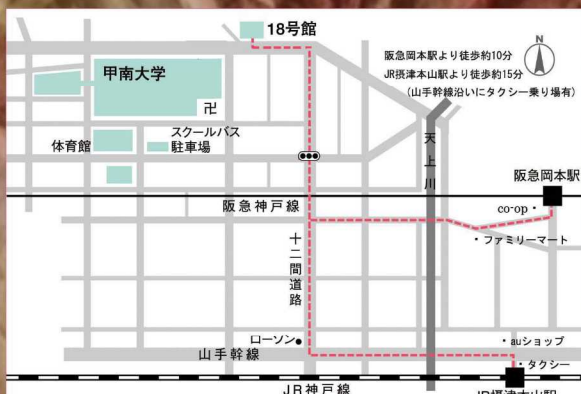
参加ご希望の方は、①名前②連絡先③e-mailアドレス（お持ちの方）  
④専門職の方は所属先を明記し、3月7日までに甲南大学心理臨床  
カウンセリンググループまでe-mail／電話／FAXでお申し込みください。  
E-mail: cc-room@center.konan-u.ac.jp  
電話／FAX: (078)453-6183（電話は10～17時まで）



親子孫子で楽しく健やかな時間を過ごしたい……。いつもとはちょっと違った体験をしてみたい……。今回で5回目を迎えるワークショップは、アート（表現行為）を親子で一緒に体験することで、創造的な時間を共有し、自分や家族の関係を見つめなおす時間をもたらします。

和紙は2014年に世界無形文化遺産に登録されました。今回のワークショップでは、この和紙や布を色で染めてみます。和紙を折って絞り染めのような風合いを出したり、特殊な絵具を使ってマーブリングを施したり。偶然にできる色合いや模様を楽しんで、遊びの感覚で染めていきましょう。ご指導いただく椋田三佳さんは、水墨画家としてご活躍中で、誰もが気楽に楽しめる創作の時間を提供していただきます。また、アートセラピー（芸術療法）のワークショップもご専門であるため、心理学的にも有意義な体験となるでしょう。

アートセラピーとは？ 描画や造形などの創作・表現活動を介して、心身に働きかけ治療効果を促す心理療法の一分野です。精神医療施設や高齢者医療・介護施設では折り紙や貼り絵などのアートをアクティビティの一つとして採り入れています。今回のワークショップでも、そのような芸術療法、心理臨床、子育て支援、医療介護福祉に関心のある方々のご参加を歓迎しています。アートセラピーへの応用を考える上で、体系的な学びの機会になるのではないのでしょうか。



甲南アトリエとは？ 甲南大学のある阪神間は、画廊や美術館、美術教室、障がい者アートのアトリエも多く、古くから芸術にかかわりの深い地域です。また阪神淡路大震災や神戸大空襲に見舞われたこの地域では、トラウマに今なお苦しむ人もいらっしゃるかもしれません。そのような地域に根ざした活動を目指す甲南大学人間科学研究所では、臨床心理学と芸術学の専門家をメインとし、地域との協働によって「癒す力」と「育てる力」を育てていきたいと考えています。そして、地域に開かれた活動を目指す中で、実践プログラムとして「甲南アトリエ」と称して、子育て支援の研究会やワークショップを催しています。

主催 甲南大学人間科学研究所  
〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9番1号  
電話／FAX 078-435-2683  
E-mail kihs@center.konan-u.ac.jp  
URL http://konan-u.ac.jp/kihs/

本事業はJSPS 科学研究費助成事業（課題番号 25284046）「芸術学と芸術療法の共有基盤形成に向けた学際的研究」（代表：川島都子）の助成を受けたものです。